



第 4 号
2022 年
12 月 18 日

宣教協働特別委員会主催プログラム

毛呂山で大根掘り体験！

執筆 ウィリアムズ 藤田 誠

11月26日に東京教区より青少年活動支援プロジェクトの福澤眞紀子さんと青年会の北久保光宣さんと共に埼玉県の毛呂山（もろやま）へ行きました。今回は北関東教区毛呂山聖霊教会の信徒でいらっしやる高橋四郎さんの畑で大根掘りを体験しました。高橋さんの畑では例年、秋になると毛呂山愛仕幼稚園の園児たちがさつまいもを掘る体験をするそうです。今年はさつまいもの成育がよくなく、代わりに大根の種を植えたので、今回、大根掘り体験となったのです。

高橋さんは、大根の他に白菜、じゃがいも、ネギ、とうがらしとさまざまな野菜を栽培していて、野菜を育てた経験のない私たちにとってとても新鮮な光景に映りました。今回の大根掘り体験を計画くださった毛呂山聖霊教会の管理牧師であり、毛呂山愛仕幼稚園の園長でもある鈴木伸明司祭からは当初、10本から20本の大根が収穫でき

ると思いとのことでしたが、最終的には50本の大根を収穫することができました。どれも太くずっしりとした重さの大根でした。収穫前の2週間でみるみる育つたと鈴木司祭と高橋さんよりお話を伺いました。大根はどれも太く重かったのですが、抜くのは意外と力を要せずにできました。抜いた50本の大根を高橋さんの軽トラックに乗せて、毛呂山愛仕幼稚園の園庭の水場で大根の土を洗い流してから園庭に並べて乾かしました。乾かした大根を東京から車で来た北久保光宣さんの車に乗せて、練馬にあるフード・パントリー活動をしている「東京子ども子育て応援団」の事務所へ届けました。今回、大根の他に高橋さんの畑で収穫されたじゃがいもとネギと、そして、カブも分けてくださったので、それらも併せてお渡しができました。また、11月27日は聖マーガレット教会でフード・パントリー活動が予定されていたので、北久保さんの車で大根を中心に野菜各種を聖マーガレット教会へ届けることができました。



愛仕幼稚園にて
大根洗い！

前橋ハスツアーに参加しました

聖アンデレ教会 ヨハネ 松岡 正道

東京・北関東教区の交流の呼びかけを受けて聖アンデレ教会では、前橋聖マツテア教会への訪問を企画。12月3日に訪問が実現しました。当日は快晴の中、信徒Sさんの素晴らしい運転で、聖アンデレ教会から18名が初冬の前橋を訪れました。

(行程表と主な内容)

前橋聖マツテア教会着 (2021年12月新設の美しい会館で休憩・お茶 福田弘三司祭ご夫妻、信徒の皆様と歓談。

日本基督教団 前橋教会見学 (聖堂で川上牧師による概要説明。1886年設立)。

昼食(会館後、マツテア教会聖堂案内。1889年宣教開始。聖堂は1952年献堂)。

県庁展望台訪問 (32階から浅間山をはじめ、赤城山、榛名山、妙義山を一望)。

カトリック前橋教会見学 (中島神父による概要説明。聖堂は1932年献堂)。

前橋ハリストス正教会見学 (東方正教会…桑原司祭による概要説明)。

聖マツテア教会で夕の礼拝後、記念撮影。

福田司祭の素晴らしい設営のおかげで、聖マツテア教会はかりではなく近隣の他教派の教会を見学出来、感謝です。お茶とお弁当の温かいおもてなしにも御礼申し上げます。

【宣教協働小委員会 巡礼チーム】

教会訪問記 東京教区 目白聖公会

東京教区からの参加者の声

スタッフ先行回ながら4回目を迎えた巡礼ツアー、今回は東京教区の目白聖公会を訪問しました。

目白は、副都心と呼ばれる新宿や池袋からほど近い所にあるものの、バス通りから一歩入れば静かで落ち着いた住宅街が広がります。

JR山手線の目白駅から徒歩5分の好立地、駅前商店街に突如として現れる目白聖公会の歴史は、1918(大正7)年に、もとは医院であった建物から始まったそうで、戦火を免れた白い聖堂(1929年建立)が、商店街を急ぎ足で通る人々を見守っています。

聖堂に入ると、まず目を引くのがステンドグラス。英国コンウォール地方のエピファニー修道院から譲り受けたものだそうです。製作年代は不明ですが、ラファエル前派の画風が見られます。また、近年修復されたという聖母子像が安置された、潇洒なサイドチャペルも必見です。お昼をはさんで、さて午後は、目白から文京区まで足を延ばして、江戸時代の潜伏キリシタンの史跡を訪れました。

まず訪れたのは、小日向の切支丹屋敷跡。江戸時代に全国から検挙されたキリシタンが収容された屋敷牢があった所で、丸ノ内線茗荷谷駅の近くにありま。2014年、マンション建設に伴う発掘調査で3体の人骨が出土し、専門機関の調査や分析から、それらはイタリア人宣教師シドッチと、日本人の男女(夫婦か)のものであることが判っています。

つぎに訪れた深光寺(じんこうじ)には、キリシタン燈籠や、坂手観音、十字のしるしの付いた無縁仏の墓があります。切支丹屋敷跡から深光寺へは坂を下って行くのですが、その坂の下は昔、湿地となっていてその上を丸ノ内線が走る、切支丹屋敷で殉教した者の遺体が投げ込まれていたそうです。その殉教者たちを近くの深光寺で供養したのは、同じく潜伏キリシタンか、それとも見るに見かねたお寺の人か……。

何を隠そう小日向在住の筆者は、身近にこんなすごいものがあつたなんて！と驚きながら家路についたのでした。



写真いっぱい！
巡礼チーム
教会訪問ブログ

ご意見掲示板

※皆さまからの「声」をご紹介します。



- ・信徒・教役者の減少。財政難。いろいろな課題がある中で、すぐに実行できる具体策を講じてほしい。今が「動くとき」なので速やかに実行に移してほしい。
- ・信徒とそうでない方も対象にしたいろいろな教会・礼拝堂のオルガン「聴き比べ」企画など、実施してみたいかがでしょうか。
- ・とにかく変えたい。だから動いてほしい。現状維持は衰退を意味する。会議ばかりでまだ何がなされているか全く見えてこない。「できない」という言い訳はもう聞きたくない。「誰かアイデアをください」と公募してみてもいいか。よきタラントが見つかるはず。

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。「特別委員会」で共有しますが、掲載できませんが、ご了承ください。川柳などもお待ちしております。お名前は載せません。
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第4号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会